

■プレゼンテーション研修（半日間）

◆ねらい：

プレゼンテーションの目的とは、相手に自分の考えを理解してもらい、行動を起こしてもらうことです。本研修では、「伝える」ために最低限必要な2つの要素(①伝えるべき内容、②伝える技術)を講義とワークを通して学び、最後に模擬体験で知識を確実に身に付けていただきます。

◆プログラム案

時間	内容	手法
3～4 時間	<p>1. 「伝える」とはということか <自分のプレゼンテーションを見直してみる> (1)なぜうまく伝えられないのか (2)「伝える」ために必要な要素とは</p> <p>2. 「伝えるべき内容」を整理する <分かりやすい構成の仕方を習得する> (1)何が話を分かりづらくしているのか (2)伝える内容を構造化する (3)階層的に整理する (4)展開を考える</p> <p>3. 「伝える技術」を身に付ける <相手に伝わる話し方のコツをおさえる> (1)言いたいことをわかりやすく伝えるためには (2)話す前に「人」と「人」との触れ合いがあるとはどんなことか？ (3)話す上で重視すべきこと (4)なぜ、相手の気持ちになって話すのか (5)話す「姿勢・態度・表情」のポイント～見栄えは重要です (6)用語の共通化～業界用語は通じない 【ワーク】「専門用語」や「カタカナ語」をわかりやすく言い換える (7)会話の締めくり方 (8)「話す」特訓 【ワーク】自社のことを全く知らないお客さまに会社紹介をする</p> <p>4. 演習～プレゼンテーションの実践 <一連の流れの中で実践する> 【ワーク】「短時間で分かりやすく話す」ことを目的に、模擬体験をする ①プレゼンテーションシートを使って簡単な資料を作成する ②シナリオを考え、グループ内でリハーサルを行う ・演習の効果 ①短時間で要点が整理できる力が身に付く ②強調・印象的な言葉の駆使・間のとり方により相手を引き付ける術が身に付く 【参考】「伝える手段」を選択する</p>	<p>講義</p> <p>講義 個人ワーク グループワーク</p> <p>講義 個人ワーク グループワーク</p> <p>個人ワーク グループワーク</p>

■プレゼンテーション研修(半日間)

◆ねらい：

職場内研修講師の研修スキルアップのため、よりよい指導のためのポイントを習得します。

◆プログラム案

時間	内容	手法
3～4 時間	1. 講師に求められる3つの要素 <習得すべきスキルの全体像を把握する> ・研修企画スキル ・インストラクションスキル ・コミュニケーションスキル	講義
	2. インストラクションスキル <伝え方、演習の進め方等のコツを習得する> (1) 講義の強度を高める題材集め 【ワーク】研修内で伝えたいテーマに関するエピソードを共有する (2) 演習を円滑に進める ①個人検討・グループ討議 ②ロールプレイング ③チェックシートの活用 (3) 演習中に留意すべきポイント(当事者意識、感情的な対立、多数派への同調) 【参考】受講者へのフィードバック 【参考】ホワイトボードの活用方法	講義
	3. コミュニケーションスキル <受講者を引き付け理解を深める技術を学ぶ> (1) 姿勢・態度・表情(立ち方、表情、視線、クセ 等) (2) 声(声量、速さ、言葉のクセにも注意) (3) ユーモアを織り交ぜる(緊張をほぐすには「笑い」、時間は長くても5分等) (4) 分かりやすい説明(言いたいことを明確に、要素を整理する、聞き取りやすい等) (5) 傾聴と質問(発言を促す、集中させる、確認する等) 【ワーク】日常工夫している「発言を促す工夫」を考える	講義 個人ワーク グループワーク
	4. 演習 ～ プレゼンテーションの実践 <一連の流れの中で実践する> 【ワーク】「短時間で分かりやすく話す」ことを目的に、模擬体験をする ①プレゼンテーションシートを使って簡単な資料を作成する ②シナリオを考え、グループ内でリハーサルを行う ・演習の効果 ①短時間で要点が整理できる力が身に付く ②強調・印象的な言葉の駆使・間のとり方により相手を引き付ける術が身に付く 【参考】「伝える手段」を選択する	個人ワーク グループワーク

■ハラスメント防止研修～一般職(半日間)

◆ねらい:

職場内におけるハラスメントは、当事者間の人間関係だけでなく、職場環境をも悪化させます。職場でのハラスメントを放置すれば、会社の管理責任が問われ、訴訟問題にも発展し、そして、従業員の生産性の低下だけでなく、多くの経済的・時間的な費用が訴訟に費やされることとなります。

当研修は一般職向けに、セクシュアルハラスメントとパワーハラスメントの理解を深めるとともに、ハラスメント撲滅に向けてとるべき行動を考えていただきます。

◆プログラム案

時間	内容	手法
3～4時間	<p>1. セクハラ認識度セルフチェック 【ワーク】あなたのセクハラ認識度をチェックする</p> <p>2. セクシュアルハラスメントとは (1)セクシュアルハラスメント(セクハラ)とは (2)2つのセクハラタイプ ①「環境型」のセクハラ…就業環境が害されるもの ②「対価型」(地位利用型)のセクハラ…労働条件の不利益を受けるもの (3)セクハラの原因 (4)セクハラの判断基準 (5)セクハラグレーゾーン 【ワーク】セクハラ行為を判断する (6)セクハラが与える影響 (7)セクハラを防ぐために (8)セクハラと認定された裁判例</p> <p>3. パワハラ被害度セルフチェック 【ワーク】あなたのパワハラ被害度をチェックする</p> <p>4. パワーハラスメントとは (1)パワーハラスメントとは (2)4つのパワハラタイプ ①言葉の暴力 ②肉体的、脅迫的な暴力 ③組織から孤立させる行為 ④理不尽な命令 (3)パワハラの特徴別行動 (4)パワハラグレーゾーン 【ワーク】パワハラ行為を判断する (5)パワハラと認定された裁判例</p> <p>5. ハラスメントへの対処法 ・ハラスメントかもしれないと感じた時に注意すべきこと</p> <p>6. 明日から行うハラスメント撲滅への行動 【ワーク】ハラスメント撲滅につき、自分がすべきことをグループで討議する</p>	<p>個人ワーク グループワーク</p> <p>講義 個人ワーク グループワーク</p> <p>個人ワーク グループワーク</p> <p>講義 個人ワーク グループワーク</p> <p>講義</p> <p>グループワーク</p>